



「公(おおやけ)」の意識 ～校外学習から～

校長 高山 直也

今年度が始まりあつという間に7月、1学期の最後の月となりました。プールからは子供たちの楽しそうな声が聞こえてきます。この号が配布される頃には、PTAの夏祭りも開催されます。子供たちの笑顔のために、大変な準備をありがとうございます。とても楽しみです。



6月19日に、6年生と「こころの劇場」(ミュージカル鑑賞)に行ってきました。小学校14校と一般招待客で、約1,000人がいました。劇団四季の一流の役者さんが歌い踊り、大掛かりな舞台変化を「無償」で堪能できる、まさに夢のような時間でした。演劇やミュージカルなどの舞台は、演じる者と観る者の双方が高いレベルで共鳴してこそ、成功し感動も深くなります。「観る者」とは6年生の子供たち。白金小の6年生は整然とマナーを守り、拍手の時は割れんばかりの拍手を送ります。場面によって、興奮した他校の子供が大きな声を出しても全く動じません。休憩でも落ち着いて移動し、パブリックスペースでの話し声も常識の範疇です。高いレベルの素晴らしい振る舞いに感動しました。昼食を食べながら数人に感想を聞きましたが、しっかり舞台の一場面や役者さん達の息遣いを感じていることに、また感動しました。

6月は校外学習に出る学年が多く、随所で白金小の子供たちは、「公」を意識して、本来の学習を深めてきました。ほんの一例を挙げます。1年生、猛暑の中「しながわ水族館」の遠足、街中を歩く時の1列・2列の変化に対応、園内でもマナーを守って楽しみ、暑い外でのお弁当や遊びを終え、疲れているのに最後までしっかり整列・歩行できました。3年生、唯一電車を使得の校外学習「キッザニア東京」、往復の車内で騒ぐ子は1人もいませんでした。大混雑の駅のホームでも列を作って静かに待ち、商業施設の中では全員が体育座りで話を聞く。これには道行く人達も驚き「凄いわね…」と声が漏れます。



授業の様子を廊下から見ていると笑顔で手を振ってくれたり、通りすがりに明るくしゃべりかけてくれたりと、普段は子供らしく元気で明るい子供たちです。しかし、一旦「公」を意識すると、場と状況を見ながら行動できる…素晴らしいを乗り越えて本当に自慢の子供たちです。

夏休みが近づいてきました。子どもたちが自分の興味を広げ、新しい発見をする絶好の機会です。体験の夏、経験の夏、海に山にとお出かけもよし、家庭での読書や工作、虫や植物観察もいいですね。様々な体験を通じて、子供の体と脳を豊かに成長させていただければと思います。

高松アカデミー

教務主任 三辻 由貴

港区では、カリキュラムマネジメントを通した幼・小・中一貫教育を推進しています。

高松アカデミーは、近隣の高輪幼稚園・白金台幼稚園・高輪台小学校・白金小学校・高松中学校の二園三校で構成されています。幼・小・中の「豊かな学び」の充実を目指して連携を強化し、「地域に信頼され、子供・保護者と共にある幼稚園・小・中学校～豊かに学び、豊かに生きる子供を育成します～」をテーマに、幼稚園・小学校・中学校が連携して12年間の教育を見通した実践を行っています。

今年度も年3回、幼稚園・小学校・中学校の保育や授業を参観します。参観後は、小グループに分かれて、『コミュニケーション力の育成』の視点で話し合います。就学前の学びをどのように小学校へつなげ、どのようにすれば中学校でその力を伸ばしていけるか、連携を図る大切な機会となります。先日もそれぞれの園校の取り組みについて共有しました。引き続き、子供たちの学びを深め、連携した教育ができるよう研究を進めてきます。



白金小学校

X

毎日更新しています。
学校HPからも入れます。